

# みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動 推進協議会だより(平成28年12月号)

## 【第2次ステージ運動スローガン】

## 高めよう安全意識 加速させよう復旧・復興 達成しようゼロ災害

### 12月～1月は「冬季転倒災害防止強化月間」です

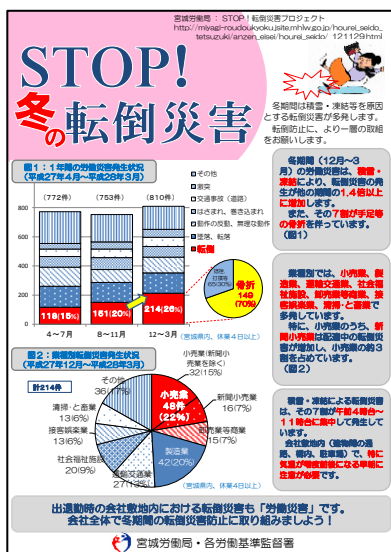
例年冬期間に積雪・凍結に起因した転倒による労働災害が多発しております。平成27年度においても12月～3月の転倒による休業4日以上の上業務上負傷者の数は214人と、同期間の労働災害の26%を占め、他の季節と比較して発生件数は1.4倍を超えています。また、転倒災害で被災した労働者の7割が手足等を骨折する重傷を負っているという状況です。

宮城労働局では、「STOP! 転倒災害プロジェクト」を精力的に展開しているところですが、これから迎える冬期間における転倒災害の減少を図るために、除雪、凍結防止剤の散布等で安全な通路を確保するほか下記のリーフレット裏面に記載した冬期間特有の転倒災害防止対策の実施をお願いしております。

「STOP! 転倒災害プロジェクト」(リーフレット等は、以下のHPをご覧ください)

厚生労働省ホームページ <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/information/tentou1501.html>

宮城労働局ホームページ [http://miyagi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/hourei\\_seido\\_tetsuzuki/anzen\\_eisei/hourei\\_seido/\\_121129.html](http://miyagi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei/hourei_seido/_121129.html)



### 積雪・凍結による転倒災害の防止対策

- 安全管理体制等の確立**
  - 安全管理委員会等において、冬期間の転倒災害防止について協議し対策を立てましょう。
  - 正産、過労の転倒事例(セーフティ事例)などから、会社敷地内、駐車場、出入り等の歩行しやすい場所を確認し、補正安全マップを作成し関係者に周知しましょう。
- 安全な通路等の確保**
  - 屋外の階段、スロープ、緩急階段、経路等で、積雪・凍結により転倒災害が発生しやすい箇所について、次のような対策をとしましょう。
  - 口蓋雪の除去、凍結防止剤の散布。
  - 口蓋雪がたまりやすい箇所を確保して「マット等の敷き」。
  - 口蓋雪・凍結防止剤に滑りやすい箇所(足など)を確保し、「見える箇所」より労働者の注意喚起を促す。
  - 口蓋雪除去の設備(足踏の除去の設備)。
- 滑りにくい履物の確保**
  - 出足時の履物について、滑りにくい(滑り止めの付いた)履物や、防滑の付いた靴の着用を推奨しましょう。
  - また、敷地内での除雪作業中の転倒災害を防止するために、当該作業時中は、滑り止め入りのセーフティシューズ・靴の着用が効果的でない限り、転倒防止対策として着用しましょう(ただし会社規定で使用し着用が許さず)。
- 歩行上の留意点**
  - 積雪・凍結した歩道や踏道での作業や、歩行する場合は、次のような注意をとりましょう。
  - 口蓋雪やスロープのアウトに手を入れたまま歩行しない、両手に物を握って歩かない。
  - 口「足裏全体で踏かず、ゆっくゆっく踏く」、「歩幅を狭くして歩く」、「歩み止めのしなやかな歩行を心がけて歩く」、「足」ローソール、歩道の端などの注意喚起の物は、積雪で滑りやすくなるので注意する。
- 天候に気を配る**
  - 天候による交通機関の遅延や遅れは、時間に余裕をもって出勤するようにし、遅延が起ると発生しないようにしましょう。
- 安全衛生教育**
  - 冬期間の転倒災害防止について、労働者に対し、上記を踏まえた安全教育を実施しましょう。
- 各作業現場での対策(出動して転倒防止)**
  - 転倒防止対策として、冬期間特有の労働者の転倒防止対策については、図1～3、図4～6の対策を参考に、歩行上の留意点、5天候に気を配る、6安全衛生教育を参考にしてください。

備えあれば 憂いなし!

月	年齢	性別	業種	発生場所	発生状況
1月	52歳	男	建設業(土木)	現場	積雪に踏み、足元の凍結防止剤の散布作業中に滑り倒れ、腰部を骨折した。
1月	52歳	男	建設業(土木)	現場	積雪に踏み、足元の凍結防止剤の散布作業中に滑り倒れ、腰部を骨折した。
2月	52歳	男	建設業(土木)	現場	積雪に踏み、足元の凍結防止剤の散布作業中に滑り倒れ、腰部を骨折した。
2月	52歳	男	建設業(土木)	現場	積雪に踏み、足元の凍結防止剤の散布作業中に滑り倒れ、腰部を骨折した。
2月	52歳	男	建設業(土木)	現場	積雪に踏み、足元の凍結防止剤の散布作業中に滑り倒れ、腰部を骨折した。
3月	52歳	男	建設業(土木)	現場	積雪に踏み、足元の凍結防止剤の散布作業中に滑り倒れ、腰部を骨折した。

(N28.11)

### 12月～1月は「冬季交通労働災害防止重点月間」です

平成24年～26年の全国で発生した建設業の死亡災害によると、①現場と事務所間の往復で67人(63%)、②道路における工事中で15人(14%)の方が交通事故で死亡しています。

①の原因別では、スリップ23人(34%)、長距離の移動13人(19%) (概ね60km以上離れた区間)、夜勤明け7人(10%)、居眠り 4人(6%)の順となっています。

②の原因別では、作業の前後に発生5人(34%) (作業準備、交通規制準備中、カラーコーン回収時等)、作業者の視認性が低くなる状態4人(26%) (剪定された木枝の片付け、土砂の清掃等)が発生しています。

「対策として」

- ①減速、車間距離の確保、急ハンドル・急ブレーキをしない、②適正な運転時間を設定した走行計画の作成、③自動車の侵入を防ぐような作業手順による作業、誘導者の配置、作業中の標識の設置、視認性を高める作業服の着用などがあります。(もう一度、現場で交通事故防止対策の再確認をしましょう)

みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進協議会  
(事務局 宮城労働局労働基準部健康安全課)

# 年末・年始労働災害防止強化運動実施中

## 平成28年11月末建設業の災害速報

平成28年11月末の全産業の死傷者数(休業4日以上)は、2,053人と前年同期比で+96人(+4.9%)と先月に引き続き増加しています。建設業では370人と対前年同期比で+45人(+13.8%)、中でも、土木工事業は121人(対前年同期比で+24人、+24.7%)、木造家屋建築工事業は105人(+37人、+54.4%)と予断を許さない状況です。

また、死亡者数は、全業種で14人と前年同期比で3人の減少ですが、建設業では5人と前年同期比で2人の増加となっています。

年末・年始の時期となり、労働災害の発生が懸念されます「宮城における年末・年始労働災害防止強化運動実施要綱」に基づき、再度、店社による安全パトロールを徹底するなど労働災害防止の取組の強化をお願いいたします。(詳細は、宮城労働局HPを御覧ください。)

### 平成28年度宮城労働局復旧・復興工事安全衛生キャラバン (一部公開安全衛生パトロール)を実施しました

みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動の取組の一環として、12月14日～15日にかけて震災復旧・復興工事での災害が増加している県北沿岸部(石巻地区～気仙沼地区)の工事現場を対象に、安全衛生パトロール(一部公開パトロール)を実施しました。

宮城労働局からは、木幡労働基準部長、齋藤健康安全課長他2名、石巻監督署から柴崎署長、小熊副署長の6名が2班に別れ、沿岸部の6現場のパトロールを実施しました。公開パトロールは、鹿島・オオバ女川町震災復興事業共同企業体(女川町震災復興事業工事)、大成・クマケー・TSUCHIYA特定建設工事共同企業体(気仙沼市立新病院建設工事)の御協力をいただき、2現場について実施しました。

今回は、パトロール講評の後、現場で抱えている問題点(安全・労働時間)等について、意見交換(ヒヤリング)の場を設け現場所長を交え、今後の災害防止対策の進め方等について確認を行いました。



### 足場解体作業の安全管理を徹底しましょう！ (お知らせ)

10月に東京都内で足場解体中の鉄パイプが落下し、近くの歩道を歩いていた通行人の頭に激突し、死亡するという事故が発生しました。

東京労働局では、この事故を重く受け止め関係団体に再発防止の要請すると共に、リーフレット(チェックリスト)を作成し周知を図っています。

当局管内においても、これまで同様に足場の部材が落下する労働災害が発生しています。ぜひ、リーフレットの裏面にあるチェックリストを御活用いただき足場部材等の落下災害防止の徹底をお願いします。(なお、当局でもHP等に掲載する予定ですが、現在、東京労働局HPに掲載されておりますので、当面、そちらを御覧ください。)

**足場解体作業チェックリスト(裏面)を活用して、足場解体作業の安全管理を徹底しましょう！**

足場の解体作業中に、公衆災害を含む重篤な災害が発生しています。足場の解体作業を行うときには、①作業計画の作成段階におけるリスクアセスメントの実施と同計画の周知、②作業主任者の選任及び解体作業に従事する者への特別教育の実施、③墜落・転落及び飛来・落下災害の防止対策の実施、により安全管理の徹底を図ってください。

**足場の解体作業における災害防止対策のポイント**

- 作業計画の作成段階におけるリスクアセスメントの実施と同計画の周知**
  - 作業の計画段階でのリスクアセスメントの実施
  - リスクアセスメント結果を踏まえた作業計画の作成
  - 作業計画の関係労働者への周知
- 作業主任者の選任及び解体作業に従事する者への特別教育の実施**
  - 高さ5m以上の足場を解体するときにおける作業主任者の選任と業務の履行
  - 足場の解体作業に従事する労働者に対する特別教育の実施
- 墜落・転落及び飛来・落下災害の防止対策の実施**
  - 足場の解体現場における高さ40cm以上の作業床の確保
  - 安全帯を全身に取り付けたための設備等の確保
  - 労働者への安全帯の着用指導
  - 材料、工具、工機を下ろすときのつり綱、つり索等の閉鎖
  - 材料の落下防止による材料、工具、工機の落下防止対策

裏面のチェックリストを活用してください。

東京労働局 労働基準部 安全課 (1722)

みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進協議会  
(事務局 宮城労働局労働基準部健康安全課)